

経営比較分析表

長野県 南佐久環境衛生組合

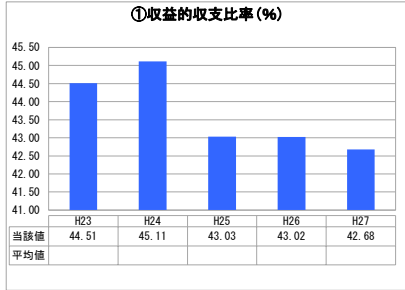
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	11.85	100.22	4,341

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,765	5.84	2,357.02

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



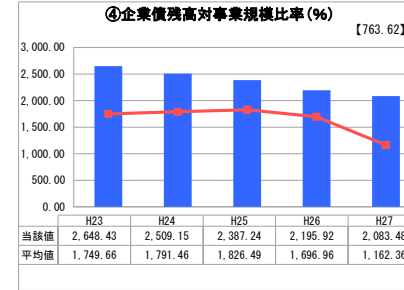
「単年度の収支」



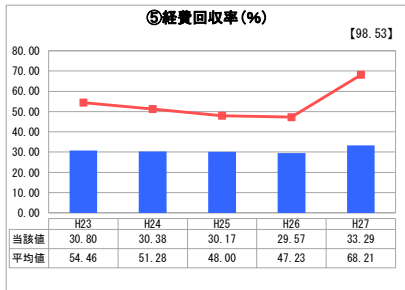
「累積欠損」



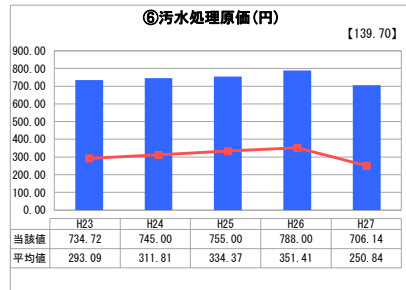
「支払能力」



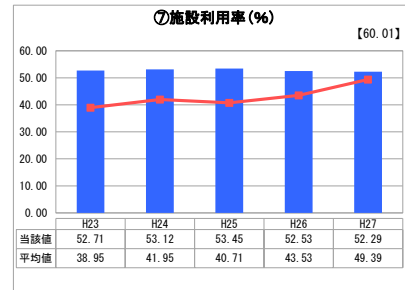
「債務残高」



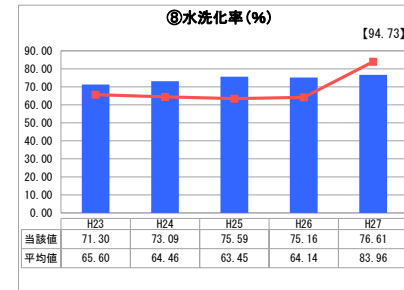
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

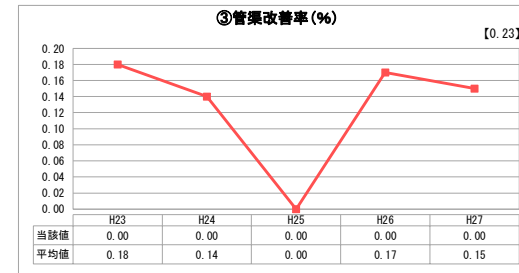
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

平成12年4月に供用開始し16年が経過しているが、短期間での施設整備、事業投資により、類似団体と比較して企業債規模が大きく、汚水処理原価も高額となり、収益の圧迫要因となっている。
平成23年度と平成26年度では、隣接する佐久穂町の汚水処理施設(コミプラ、農集)が接続統合され一定の効率性が図られ、水洗化率や施設利用率も類似団体と同程度だが、人口減少に伴う有収水量の低下が進み、施設運営の適切な水準の料金収入に至らないため、経費回収率も圧迫している状況である。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化による更新投資・対策の実施状況は該当していないが、引続き定期的(概ね5年~7年サイクル)な清掃点検を行い、適正な維持管理に努めるとともに、一層計画的な点検・調査を進め、今後の施設更新事業費の平準化・削減を見据えた改築方針等を策定する必要がある。

全体総括

平成32年度からの企業会計(法適用)への移行に向けて準備を進めているが、施設効率の改善や今後の投資のあり方はもちろんのこと、運営体制そのもののあり方も見直していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。